

令和3年度の**主要事業**

●福祉医療費助成事業 (1億9,891万2千円)

小学校1年生から高校生世代までの子どもに対する医療費を町単独で助成します。

●幼稚園給食費補助事業 (3,080万円)

町内在住で神戸町立幼稚園を利用する3歳から5歳児の給食費を無償化します。



●多子(第3子以降)世帯 給食費助成事業 (660万円)

高校生世代までの子どもが3人以上いる世帯に対して、3人以上の学校給食費相当分を助成します。

●病児・病後児保育事業 (728万3千円)

子どもが病気の際に自宅での保育が困難な家庭に対して、病院等において一時的に保育することで、安心して子育てができる環境整備を図ります。また、3人以上の児童を扶養する多子世帯、生活保護世帯及び町民税非課税世帯に対して利用料を無料にします。



●育児用品購入助成事業 (3,640千円)

次世代を担う子どもの出生を祝しその健やかな成長を支援するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、育児用品購入に係る費用を1歳未満の子ども1人につき3万円助成します。



●子育て世代包括 支援センター事業 (240万7千円)

保健センターと子育て支援センターに設置した「子育て世代包括支援センター」において、保健師等が相談支援等を実施することで、妊娠期から子育て期にわたるまでのさまざまな悩み等に円滑に対応します。



▲保健師による沐浴指導

●中核機関(成年後見制度 利用支援)設置事業 (53万3千円)

すべての町民が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために権利擁護支援(成年後見制度)を行う「中核機関」を設置します。

●認知症対策事業 (838万1千円)

急速に増加する認知症に対し、正しい知識の普及、予防、早期発見と重症化予防に取り組みます。



▲脳いきいき勉強会の様子

●高校生世代養老鉄道・ 名阪近鉄バス通学定期券 購入助成事業 (500万円)

町内在住の高校生世代を対象とし、養老鉄道、名阪近鉄バスを利用する通学定期券の購入金額の1/3を補助します。
※詳しくはP9をご覧ください！

●学校ICT教育 環境整備事業

(5,052万9千円)

神戸町の次世代を担う子どもたちの確かな学力の育成を目指して、小・中学校に電子黒板、タブレット端末及びWi-Fi環境等、学校におけるICT教育環境の整備を推進します。



●幼小中学校 情報配信システム事業

(145万2千円)

スマートフォン等の普及に伴い、添付ファイルを同時に配信でき、返信機能、アンケート調査機能等を有する情報配信システムを構築し、幼稚園、小中学校、町から児童・生徒の安心安全のためにきめ細やかな情報配信を行います。

●文化遺産活用推進事業

(500万円)

県重要無形民俗文化財に指定されている神戸山王まつりの内容や技術を資料として残し、後世に正しく継承していくため、総合的な調査を行い、解説映像、解説冊子を作成します。さらに、講演会やワークショップを開催します。



▲山王まつりの歴史を学ぶ講演会

●特産品開発支援事業

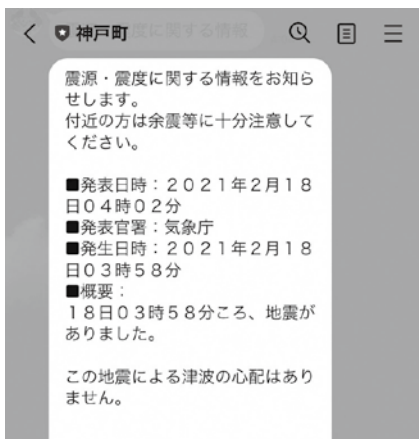
(150万円)

地域資源を活かした特産品の開発・改良及び商品化に要する費用の一部を補助します。町ならではの特産品の開発を促進し、地域産業の活性化を図るとともに、ふるさと納税の返礼品の充実及びごうどブランド認定商品を生み出すことを目的とします。

●住民向けメール(すぐメール ごうど)配信事業

(120万円)

防災、気象情報をはじめ、子育て関係やイベント情報等、暮らしに役立つ様々な情報をメールやLINEで受け取ることができます。また屋外や外出時にも町が発信する情報をタイルリーに受け取ることができます。



●神チャレンジプロジェクト推進 事業

(170万円)

「神戸町に住んでよかった」と思えるまちづくりを目指して、官民協働でまちづくりの課題解決に向けた事業を計画・実行します。
テーマ
「花のある暮らしづくり」、「郷土愛を育む」

※関連記事P22の「ばらづくり講習会」のお知らせをご覧ください。



▲花のある暮らしづくり 寄せ植え講習会

●下水道管渠整備事業

(7億5,852万円)

公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、平成12年度に公共下水道計画を策定し、平成13年度から事業に着手しています。令和3年度も引き続き供用開始区域の拡大に向けて西保・南方・更屋敷区の一部で下水道管渠を整備します。

